

会議記録

令和5年4月27日

- 会議名 丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会
第10回 吉見・鴨庄・三輪地域部会
- 日時 令和5年4月26日（水）19:30～20:00
- 場所 旧鴨庄小学校 ミーティングルーム
- 出席者 委員：坂谷 高義、木寺 章、由良 英樹、松本 和樹、吉井 公乃
宇佐美 大介、高橋 麻美、岸本 菜実、内田 順子
芦田 繁昭、田野 悟
（欠席委員：湊上 利美、高見 忠寿）
教育総務課：足立部長、足立課長、塩見副課長、船越係長、河南、小田
学校教育課：池内次長

1 報告・協議事項

（1）美和地区による統合時期の結果報告

○委員より報告

- ・昨年夏の「考える会」にて、こども園の保護者から、「できるだけ早い統合を」という声を受けて、市教育委員会から「令和8年度統合」を提案された。
- ・令和5年3月28日（火）に「三輪小学校の統合時期を考える会」を開催し、最終的な統合時期について協議を行った。各自治会長、こども園及び三輪小学校の保護者など計46名が集まり、統合準備委員から、これまでの統合協議の経過や令和8年度統合案を説明したうえで、「令和8年度統合」を提案した。
- ・統合準備委員としては、令和8年度統合の見解に賛成していることを示し、「考える会」で議論いただいた。早期の統合のメリットやデメリット、統合により児童数が増えることの不安や課題、こども園からの集団を活かした幼小連携への期待などの意見が出され、令和8年度統合案への賛成意見と、「統合時期はできるだけゆっくりでよい」という反対意見で、議論は2時間を超えても平行線でまさに伯仲の状況であった。
- ・最終的に、こども園・小学校の保護者、地域の方において、「令和8年度統合案に賛成される方」および「統合準備委員に判断を委ねる方」に挙手をお願いしたところ、主催者の統合準備委員を除く、約7割の方が挙手され、自治振興会長より、「私たち統合準備委員に任せていただくということではよろしいか？」という問いかけに異論がなかったため、「統合準備委員に判断を任せていただき、その結果を、本日の議論で出された不安や課題とともに地域部会に報告させていただく」ということで協議を終えた。
- ・この3月28日の「考える会」の終了後、8人の統合準備委員で会合を持ち、「令和8年度統合案」に対する「美和地区としての意思」と「不安や課題」を以下のとおりまとめた。これらの不安や課題について、十分な対策をとっていただくようお願いいたします。

【美和地区としての意思】

- ・令和8年度の統合案について、様々な不安や課題を出されたが、今後の美和地区の児童数の減少傾向や、こども園・小学校の連携による教育活動の充実への期待に鑑み、大局的な観点で令和8年度統合案を決定した。

【不安や課題】

- ・ 一つめは、スケジュール案のみの提示で、増築される教室の数や増築場所が示されていないこと。

例えば、普通教室の数だけでなく、特別な支援を要する児童のための教育環境（指導教室含む）が十分に確保されるのか。また、学校の増築場所が運動場になる場合、普段の体育の授業や運動会に支障が出るのではないか。増築場所が駐車場になる場合、参観日や学校行事などの駐車スペースが十分に確保できるのかどうか。

- ・ 二つめは、1クラスの児童数が増えることや、数年の間に2度の統合を経験することにより、児童や教育活動に影響が出るのではないか。

例えば、教育の目が行き届きにくくなり、いじめや不登校などの問題が生じないか。数年の間に2回統合を経験することで、児童の心理面の負担、教員の負担増による教育活動の影響の懸念。

【上記に対する部会委員からの意見】

○委員

- ・ 鴨庄小学校の統合から1ヶ月経過しようとしている。先日参観日にいったが、児童も元気に学校生活を頑張っている。児童も地域も前向きに頑張っているので、前向きに進めて行ってほしい。

○委員

- ・ 美和地区の委員さんは本当に大変だったと思う。今後、統合に向けて教室数の増加や増築などが予定されると思う。学校の敷地面積の問題もあるが、統合して本当に良い学校になったと思えるよう、市教育委員会にお願いしたい。

○委員

- ・ 夏の美和地区の話し合いの中では、こども園の人たちと勉強や生活が一緒にできるよう、できるだけ早い統合が望まれていた。その結果、市教育委員会から様々なことを検討いただくなかで、「令和8年度統合案」を示してもらった。しかし、統合の年数が決まったことで、不安も出てきた。不安を解消しようと議論を進めてきたが、鴨庄地区や吉見地区、市教育委員会などには統合時期の決定を待ってもらうことになった。こども園と小学校との連携をより一層進めていきたい。

(2) 三輪小学校の統合時期について

三輪小学校の統合時期を「令和8年度」とすることに全員が賛成された。

→ 三輪小学校の統合時期は、「令和8年度」とする。

※丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会設置要綱第11条に基づき、部会での決定事項は、全体会での承認を要せず、原則決定される。

○丹波市市島地域市立小学校統合準備委員会設置要綱
(部会の会議)

第11条 部会の会議は、第8条の規定を準用する。

- 2 部会で決定した議事は、原則として全体会での承認を要しない。ただし、部会において全体会で協議をすることが適当とされた事項については、全体会の議事とするものとする。
- 3 前項の場合において、部会長は、全体会の議事とすべき事項が生じた場合は、速やかに委員長に報告するものとする。

2 その他の意見

○委員

- ・吉見、鴨庄小学校の統合にあたり、様々な教育条件の整備と統合加配を十分にしてもらい、担任・副担任制度で1年間の教育ができる。
- ・統合して心配していたことは何一つ起きていない。むしろ、統合前に抱えていたそれぞれの課題が解消し、家庭、地域も全面的に支えており、個々がグレードアップしたように感じている。
- ・学校協議会の中では、「鴨庄の児童が吉見に慣れたり、合わせたりするのではない。」「新しい学校を作ると思ってやってほしい。」という意見が出た。閉校の時には、文化の拠り所である学校がなくなることは大きいと感じたが、この1年をかけて、そうではなかったと言ってもらえるような、開かれた学校づくりをしていきたいと思うと同時に、統合のコンセプトである幼小連携の構築を図り、長い目でみたら統合してよかったと思ってもらえるような学校経営をしていきたい。
- ・三輪小学校とも着実に連携を進めていきたい。

○事務局

次回部会では、新部会長、新副部会長の選出について協議したい。

3 今後の日程

未定